

同窓会 たより



千葉大学看護学部・
看護学研究科同窓会

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL 043-222-7171
ホームページ <http://www.n.chiba-u.jp/dousoukai/index.html>

ご挨拶

同窓会会長 岡田 忍 (3期)

最初に、今回の東日本大震災で被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。会員の皆様がたよりを手にされる頃は、原発事故も収束に向かい、復興の兆しがより一層確かなものになっていることを心より願っております。活動方針の提案にもありますように、被災した準会員・会員に対して同窓会ならではの支援を行なうことを考えておりますので、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度より準会員である学部生の時から自分が将来の同窓生であることを意識できるようなはたらきかけを始めましたが、今年度は1年生に対しても同窓会からの入学祝としてネームカードホルダーを贈ることにしました。演習や実習の場で活用する時に少しでも同窓会のことを思い出してくれればと期待しています。オープンキャンパスでも同窓会のポスターを展示し、千葉大学看護学部の同窓生が日本全国、さらには海外でも活躍していることを訪

れた方々にアピールいたしました。学部との協力体制もかなり整い、確実に「絆」としての機能を整えつつあると感じています。

最後に昨年の名簿の発行に伴うと推測される同窓生の個人情報流出の件について多くの方にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。個人票のデータにつきましては信頼できる業者に依頼し、様々な情報漏えいのための保護をかけた上で厳重に管理しております。個人票の記載内容は、卒業生の動向を知る重要なデータであり、皆様の母校である看護学部・看護学研究科にとって貴重な財産となるものです。個人票の住所・電話番号は名簿に掲載しないこともできますので、今年も必ずご返送くださいますようお願いいたします。

2011年度活動目標：

同窓会活動をより一層活性化するとともに、震災の影響が長期に渡ることを考え、2011年度の活動目標として以下の2つを提案します

- ①学部との連携を強め、準会員・会員相互にメリットを感じられる活動を行なう
- ②東日本大震災で被災した準会員・会員への支援を行なう

ご挨拶

看護学研究科長 正木 治 恵

桜がほころび始め、少し心をなごませてくれています。この度は、未曾有の災害に見舞われ、多くの方々が今なお不安な日々を送られていることを考えると胸が痛みます。卒業生のご家族あるいは所属施設等関係者の皆様方の中には、被災に遭われた方々もいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。また、長期に渡り救援活動にあたられている方々にも、感謝の意を表したいと思えます。

千葉大学看護学部の卒業生は、この3月で2,766名となり、大学院看護学研究科の修了生は793名となりました。卒業生・修了生の多くの方々が、日本の看護界を牽引すべく、大学や現場で活躍されています。

この度の震災に際し、本学部からは7名の教員が被災地の避難所支援に向きました。その時に発揮されたのは、看護学の専門知識と経験、そして事務職員を含めた総合力です。それが、まだ世間が混乱状況にある中、迅速な支援活動を可能としました。この支援活動を通して、あらためて本学部の底力を実感しました。そして、それはとりもなおさず、本学から発信した底力宣言の具現化になりました。

本学部の底力宣言である「つなぐ!看護学の知、絆、礎」には、3つの具体的な目標を掲げています。すなわち、「1. つねにより

高きものを目指すナース・サイエンティストの育成」、「2. フロントランナーとしての知の創出・統合・発信」、「3. 個人、地域、日本、アジア、世界のそれぞれに力点をおいたパイオニアへ」です。ここで示した3つの目標は、同窓生の皆様方によって、既に具現化されていることであり、我々はあらためてこの目標を自覚し、日々の教育・研究・社会貢献活動に取り組んでいきたいと考えております。

昨年度、本学部で力を入れたことの一つに、広報活動の充実があげられます。まず看護学部・看護学研究科のホームページを刷新しました。最近本学部のHPをご覧になっていらっしゃる方は、是非一度覗いてみて下さい。在学生や卒業生・修了生のメッセージ等が新鮮に映し出されています。また、学部ならびに大学院のパンフレットも刷新しています。数年前から、入試に関する広報活動も強化しています。千葉県近隣の高校の進路指導の先生方を本学部へ招いて学部紹介を行ったり、在学生と教員と一緒に出身校の高校を訪問したりという活動を積み重ねています。看護系大学が200校近くにもなっている現状では、優秀な受験生確保は各大学の重要課題になっています。本学部の実績と評価は、同窓生の皆様方が創って下さったものです。

今後も、皆様方のご協力のもと、本学を更に発展させるべく努力していく所存です。引き続き、千葉大学看護学部の応援をよろしくお願い致します。

平成22年度 総会報告

平成22年7月17日(土) 15時10分から、看護学研究科第1講義室にて同窓会総会を開催しました。総会では、会長挨拶の後、運営委員会から平成21年度の活動と入会状況について、名簿委員会からは、平成21年度名簿の作成を行ったこと、データベースの作成に当たり個人票の返送率は全体で40～60%であり、返送率の低い26期の卒業生に対し督促状を送ることを検討していること、たより委員会からは平成21年度のたよりの特集について、将来的には電子媒体でたよりの発送を行う方向であり、アンケートを作成し準備をしていること、企画委員会からは平成21年度の企画内容と、参加者数が42名とここ数年で一番多い参加者数であったこと、ホームページ委員からは、平成21年度のホームページの更新状況、平成22年度は岡田委員長から江幡委員長に交代し、HPを充実させる目的で「お知らせ」の活用を広げること、メッセージを追加して定期的に更新していくことが報告されました。また、平成21年度の会計監査について報告され、承認されました。

平成22年度の役員が選出され、岡田会長より、同窓会活動のPRが必要であり、広報活動に力を入れていくために、平成22年度からHP委員と企画委員を合併し広報渉外委員会とすること、これまで運営委員会が行っていた業務の一部を広報渉外委員会が行うこととすることが提案され、討議の結果承認されました。また、同窓会入会に関する方針について、これまで任意入会でしたが、今後は、入学時に原則入会をしてもらう方向でお知らせすること、それに伴い、入会手続きを変更することが提案され、承認が得られました。同窓会名簿には原則として卒業生・修了生全員を掲載することが提案され討議の結果承認が得られましたが、過去の卒業生で、同窓会に入会していないために名簿に掲載されていない者の名簿掲載の対応が今後の検討課題であることが確認されました。同窓会規約の変更について、設立年月日を追加し、同窓会の名称を「千葉大学看護学部同窓会」から「千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会」に変更するという提案がなされ、承認されました。今年度は初めて看護学部の学生が実行委員長を務める等の説明がなされ、岡田会長から、平成22年度予算のうち5万円を亥鼻祭に寄付してはどうかという提案がされ、承認が得られました。平成22年度の活動予定に対して、平成22年度予算案が審議され、承認されました。

平成22年度の役員が選出され、岡田会長より、同窓会活動のPRが必要であり、広報活動に力を入れていくために、平成22年度からHP委員と企画委員を合併し広報渉外委員会とすること、これまで運営委員会が行っていた業務の一部を広報渉外委員会が行うこととすることが提案され、討議の結果承認されました。また、同窓会入会に関する方針について、これまで任意入会でしたが、今後は、入学時に原則入会をしてもらう方向でお知らせすること、それに伴い、入会手続きを変更することが提案され、承認が得られました。同窓会名簿には原則として卒業生・修了生全員を掲載することが提案され討議の結果承認が得られましたが、過去の卒業生で、同窓会に入会していないために名簿に掲載されていない者の名簿掲載の対応が今後の検討課題であることが確認されました。同窓会規約の変更について、設立年月日を追加し、同窓会の名称を「千葉大学看護学部同窓会」から「千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会」に変更するという提案がなされ、承認されました。今年度は初めて看護学部の学生が実行委員長を務める等の説明がなされ、岡田会長から、平成22年度予算のうち5万円を亥鼻祭に寄付してはどうかという提案がされ、承認が得られました。平成22年度の活動予定に対して、平成22年度予算案が審議され、承認されました。

資料1 平成22年度決算報告

項目	計	予算	決算	予算との比較
収入の部	計	8,448,567	8,829,399	380,832
1. 会費	計	8,431,067	8,805,999	374,932
1) 繰越金		7,554,067	7,554,067	0
2) 22年度新入会員終身会費(¥12,000×104名) (内訳 06N卒業生85名 修了生19名)		876,000	1,248,000	372,000
3) 利子(総合口座から ¥77・¥26 定期貯金から総合口座への移行時 ¥3681+¥31+¥119)		1,000	3,932	2,932
2. 企画委員会	計	3,500	0	△3,500
1) 記念誌代		3,500	0	△3,500
3. 名簿委員会	計	14,000	13,400	△600
1) 名簿代振込(¥2,800×4冊分)		14,000	11,200	△2,800
2) 寄付		0	2,200	2,200
4. その他	計	0	10,000	10,000
1) 寄付		0	10,000	10,000

項目	計	予算	決算	予算との比較
支出の部	計	8,448,567	8,829,399	380,832
1. 運営委員会	計	38,000	47,606	9,606
1) 会議費(交通費・茶菓子)		8,000	20,823	12,823
2) 郵送費(事務連絡通信費・個人票返送料)		15,000	10,410	△4,590
3) 人件費(総合アルバイト)		10,000	10,000	0
4) 雑費(コピー代等)		5,000	6,373	1,373
2. 名簿委員会	計	224,500	258,961	34,461
1) メンテナンス・データ処理		109,000	107,787	△1,213
2) 個人票関係費		102,000	148,679	46,679
3) 雑費(郵送代・コピー代等)		1,500	2,495	995
4) 謝金(個人票確認作業補助)		12,000	0	△12,000
3. たより委員会	計	701,000	666,126	△34,874
1) 印刷費(たより発送・振込手数料を含む)		700,000	665,286	△34,714
2) 雑費(通信費)		1,000	840	△160
4. 広報・渉外委員会	計	244,000	327,772	83,772
1) ホームページ更新費		45,000	42,000	△3,000
2) 会議費		2,000	12,643	10,643
3) 記念誌		1,000	0	△1,000
4) チラシ印刷代		85,000	53,489	△31,511
5) 渉外費(校友会費・謝金・卒業記念品)		110,000	216,070	106,070
6) 雑費		1,000	3,570	2,570
5. その他	計	0	50,000	50,000
1) 亥鼻祭への寄付		0	50,000	50,000
6. 予備費	計	7,241,067	7,478,934	237,867

平成22年度 千葉大学看護学部同窓会の会計監査を実施した結果、収支ともに正当であることを認めます。

平成23年4月11日 監査 知住淑子(印) 小川純子(印)

資料2 平成23年度予算案

項目	計	予算案
収入の部	計	8,625,434
1. 会費	計	8,607,934
1) 繰越金		7,478,934
2) 新入会員会費(¥12,000×94名分)		1,128,000
3) 利子		1,000
2. 企画	計	3,500
1) 記念誌代(¥3,500×1冊)		3,500
3. 名簿委員会	計	14,000
1) 名簿購入見込(¥2,800×5名)		14,000

項目	計	予算案
支出の部	計	8,625,434
1. 運営委員会	計	53,000
1) 会議費		21,000
2) 郵送費		15,000
3) 人件費(総合アルバイト)		10,000
4) 雑費(コピー代等)		7,000
2. 名簿委員会	計	273,500
1) メンテナンス・データ処理		109,000
2) 個人票関係費		150,000
3) 雑費(郵送代・コピー代等)		2,500
4) 謝金(個人票確認作業補助)		12,000
3. たより委員会	計	701,000
1) 印刷費		700,000
2) 雑費		1,000
4. 広報・渉外委員会	計	309,000
1) ホームページ更新費		45,000
2) 会議費		13,000
3) 記念誌		1,000
4) チラシ印刷代(印刷予定部数3,000部、三つ折料金含む)		55,000
5) 渉外費(校友会費・謝金・卒業記念品(バラ))		160,000
6) 雑費		35,000
5. 寄付	計	330,480
1) 東北地方太平洋沖地震に関する支援関係		
内訳		
義援金 20万円		20,000
卒業証書再発行通知 ラベル出力 14,000円		14,000
メール便 80円×831名分=66,480円		66,480
2) 亥鼻祭への寄付		50,000
6. 予備費	計	6,958,454

Curio(キュリオ)千葉大学校友会SNSの入会方法

1. <http://www.chiba-u.ac.jp/sns/>を開き、[入会案内はこちら](#)をクリックし、『Curio』入会申込書(正会員用)より、入会申込書の書式をダウンロードする。
2. 入会申込書に必要事項を記載し、本人であることを確認できる書類(運転免許証、健康保険証など)のコピーとともに、校友会事務局まで郵送かFAXで送る。
<送付先> 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 FAX 043-284-2550 千葉大学校友会事務局
3. 校友会事務局で正会員の資格を持っていることを確認したうえで、「Curio」への登録を行う。
4. 登録が完了したら、メールで連絡をする。

看護学研究科の新しいこと！

紹介します。

特集

「人間環境制御システム」のご紹介

岡田 忍（3期同窓生、同窓会会長）
連絡先：sokada@faculty.chiba-u.jp

平成22年3月に管理棟4階に設置された「人間環境制御システム」（写真参照）について、この場をお借りして紹介させていただきます。このシステムは様々な生理学的指標を計測する上で重要になる温湿度を一定に保つことのできる人工気候室と、熱画像を撮影できるサーモグラフを備えています。

同窓生の皆様には、是非、母校である千葉大学看護学部・看護学研究科との「絆」を大いに活用していただきたくご紹介しました。現在使用手続きを整備しておりますので、興味のある方は是非研究などにご活用いただければと思います。



人工気候室



人工気候室内部サーモグラフ

ご挨拶

エンド・オブ・ライフケア看護学 特任教授 長江 弘子

このたび、日本財団の助成事業を受託し、「領域横断的エンド・オブ・ライフケア看護学の構築」事業が開始されました。2011年度から本格的に開講することになります。この事業には私のほか、櫻井智穂子特任講師、和泉成子特任教授（5月～7月）とが力を合わせて進めて行くこととなります。

この事業は2つの目的を持っています。1つは、「看護基礎教育課程において生と死について深く学び、死生観を身につけた看護職者の人材育成」であります。2つめは「エンド・オブ・ライフケア看護学の確立と地域への発信」です。これらの目的を達成するため、①教育、②研究、③情報の蓄積と発信という3事業を柱に、5カ年計画で進んでいきます。具体的に①教育では、普遍教育、看護学基礎教育及び大学院におけるエンド・オブ・ライフケア看護学教育の実施と評価です。普遍教育では、これまで2007年～2009年の3年間の「いのちを考える」科目の開講実績があり、その成果を踏まえながら今年度はさらに

発展させ、がん患者のみならず多様な疾患、多様な療養の場におけるエンド・オブ・ライフケアを考える科目「生きるを考える」として新たにスタートします。また看護学部では4年生・編入生を対象に「エンド・オブ・ライフケア看護実践論」、大学院では「エンド・オブ・ライフケア看護学特論」を開講し、Practice Based Evidenceのアプローチを学生と共に学びます。②研究では、多領域の研究者と共に新たな学問として理論構築を目指すべく、領域横断的エンド・オブ・ライフケア看護学研究の推進をしていきます。③情報の蓄積と発信では、国内外の情報を集約し専門家と市民が相互交流できる場を提供することで、日本型エンド・オブ・ライフケア看護学のあり方を地域社会に問いかけ、本事業の成果を広く発信していくことを考えております。どうぞ同窓会の皆様からも本事業に対するご意見をお寄せ下さいますよう、よろしく願いいたします。

エンド・オブ・ライフケア看護学では**研究補助員(RA)**を募集しています。

大学院を修了した方で、週に数日、研究補助員としてお仕事をしてみたい方はいませんか？ 研究的なことに触れたい、母校とのつながりを持ちたいという方はぜひ声をかけてください。お待ちしております。

連絡先：h-nagae@faculty.chiba-u.jp Tel/FAX：043-226-2777（長江まで）

センターは、昭和57年（1982年）に全国共同利用施設として看護学部を設置されました。以来、30年間にわたり大学教員や看護学研究者、看護職の指導的立場にある人たちへの生涯教育を行なうことを目的に、時代のニーズにあわせた研修を提供することを中心に取り組んできました。同窓生の皆様が在学中にセンターの事業に触れることは少なかったと思いますが、看護職として活躍される中で関わりをもたれた方もいらっしゃるかもしれません。

センターは、ここ数年大きく変わってきました。石垣先生が学部長の平成17年に認定看護師教育課程（乳がん看護）を我が国唯一の課程として設置しました。また、森先生が学部長をされていた平成19年から、設置以来学部長が併任されていましたセンター長を専任にし、研究部の再編を行い現在のケア開発研究部と政策・教育開発研究部の2部門になりました。さらに、現在の研究科長の正木先生が平成21年に学部を大学院部局化されたのを機に、センターも看護学研究科附属となりました。

こうした組織の改革が進む中、大学も独立法人になり目標・計画を立てて実行し評価を受けるようになりました。その第1期分（平成16～21年）の評価の中で、センターは「看護学教育の質の向上に貢献している点で優れていると判断される」と高い評価を受けることができました。これをきっかけに、文部科学省が新たに創設した全国の教育関係共同利用拠点に申請したところ、平成22年に「看護学教育研究共同利用拠点」として看護学としては全国で唯一認定されました。医学教育も共同利用拠点が岐阜大学になりましたが、その他の分野で拠点はありません。研究科の玄関に看板を設置させていただきました(写真参照)。

現在は、特別経費をいただいて「教育－研究－実践をつなぐ組織変革型看護職育成支援プログラムの開発」に取り組んでいます。これは、教育と実践をつなぐための方略を研究的に明らかにし、その成果に基づいて個人の成長だけでなく、組織を変革できるような人材を育成する研修プログラムを開発するもの

です。すでに実施している看護系大学の教員を対象にした看護学教育ワークショップ、臨地実習施設の指導者を対象にした看護学教育指導者研修、国公私立大学病院の看護職を対象にした副看護部長研修と看護管理者研修（写真参照）を引き続き開催しながら、プログラムの開発と共同研究を推進していきます。

さらに、本年度からは共同利用拠点として「看護学教育におけるFDマザーマップの開発と大学間共同活用の促進」のプロジェクトをスタートさせます。6月28日にはキックオフ・シンポジウムをけやき会館で開催しますので、関心のある方はぜひお越しください。

これまでセンターの活動を皆様方にお伝えすることが少なかったのですが、昨年よりセンター独自のホームページ（URL；<http://www.n.chiba-u.jp/center/>）を開設し、パンフレットも作成しました。今後、ニュースレターも発行していきますので、センターの活動をご覧いただき、ご意見などを賜れば幸いです。また、共同研究員も随時募集していますので、私どもの取り組みにご参加いただけますようお願い申し上げます。



大学院の詳細はホームページからどうぞ
看護学部同窓会ホームページはこちらです

▶▶▶ <http://www.n.chiba-u.ac.jp/index.html>
▶▶▶ <http://www.n.chiba-u.ac.jp/dousokai/index.html>

平成23年度千葉大学大学院看護学研究科説明会案内

— 博士前期・後期課程及び修士課程対象 —

日 時：平成23年6月25日(土) 集合時間12:50, 開催時間13:00

場 所：千葉大学看護学部 講義・実習室

- 内 容：(1) 看護学研究科の概要と特色
(2) 各教育研究分野等教授紹介
(3) カリキュラムの説明
(4) 大学院生からのメッセージ
(5) 専攻別質問コーナー、大学院生との交流

お問い合わせ・お申込み先：

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 看護学部大学院担当

TEL 043-226-2450, FAX 043-226-2382 Eメール：tae5667@office.chiba-u.jp

千葉大学看護学部ホームページ：http://www.n.chiba-u.jp/

参加を希望される方は、平成23年6月17日(金) 17:00までに、お名前・ご住所・電話番号・Eメール・決定していれば志望教育研究分野を記載し、「大学院説明会参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX、Eメール等でお申込み下さい。

同窓会から記念品を贈りました！



平成23年3月23日、看護学部卒業生94名、続く3月25日には大学院修了生30名にバラの花を贈りました。東北地方太平洋沖地震の影響により、千葉大学全体での卒業式も中止となる中、看護学部で行われた学位伝達式では、卒業生、修了生たちは皆無事を確認し、思い出を語り合い、これからのお互いの活躍を約束していました。

また、4月には、新入生と新3年生にネームホルダーを贈りました。これは平成22年から進級・入学のお祝いとして同窓会から贈呈しているものです。臨地実習や専門職連携教育(IPE)で患者さんや他学部学生と交流する際、自分の名前を名乗ることは関係づくりの第一歩です。そのような時、ネームホルダーが役立つことを期待しています。

2010年度 亥鼻祭のご報告とお知らせ

2010年度亥鼻祭実行委員長 看護学部4年 池田 安祐美

2010年11月6日、7日、千葉大学亥鼻キャンパスにて第8回亥鼻祭を無事に執り行うことができました。2日間とも天候に恵まれ、2,500人以上の方にご来場いただきました。ご来場くださった皆様、ありがとうございました。テーマは「ビッグバン」とし、今までの歴史を大切にしながら、新しい意見を多く取り入れて、変化のある年にしたいという思いを込めました。

開催につきましては同窓会からも寄付金をいただき、私たちの活動をご支援いただきまして、本当にありがとうございました。皆様のお力を借りながら、これからも長く愛される大学祭となるように活動してまいります。

2011年度の本部会も発足いたしました。今年度も含めまして、これからも亥鼻祭をよりよい活動にしていくために、皆様に寄付をお願いしたいと考えております。ご協力、ご支援いただければ幸いと存じます。寄付金は一口5,000円で何口でも結構でございます。下記の口座番号まで、郵便振込みでお願いいたします。

(口座番号00160-5-480746 千葉大学亥鼻祭実行委員会)



平成22年度

同窓会企画報告



テーマ：

看護学部創設の秘密 ～なぜ千葉大学に創設されたのか～

講師： **大室 律子** 先生
元千葉大学大学院看護学研究科付属
看護実践研究指導センター教授

日時： 平成22年7月17日（土）
13：30～15：00

場所： 千葉大学看護学部 第一講義室
参加者数： 42名



企画内容：

今回は、大室律子先生をお招きして講演いただきました。看護学部設立に携わった行政官や教員へのインタビューをもとに、看護の大学教育化が必要と判断された理由、教員確保の苦勞、今後の千葉大学看護学部を期待することなどをお話いただきました。

学部在生を含め、多数の会員が参加しました。参加者と近い距離での大室先生の熱弁に、一同が聞き入りました。

企画に参加して下さった会員の皆様、当日の運営にご協力くださった皆様に改めてお礼申し上げます。次回の企画も、たくさんの方々のご参加をお待ちしております♪

平成21年度企画委員一同

委員長：石橋みゆき（14期）、副委員長：時田礼子（21期）、委員：村瀬智子（7期）、山下亮子（22期）

参加者アンケートより ～感想&ご意見～

- ・文部省と厚生省の間で、又日本の縦社会の中で奮闘された大室先生の話がとても印象に残りました。
- ・私にとってのルーツ、新たな発見もあり、とても心に強く印象に残り、参加して大変良かったです。
- ・千葉大学看護学部に誇りを持って頑張っていきたいと思います。
- ・実際には国立大学で看護学部があるという意義は分かってもらえないことが多いです。私自身がそれをきちんと言葉で説明できるように、また実力で示せるよう頑張りたいと思いました。
- ・看護師3ヶ月目として、もう一度自分の看護をしっかりと考えていかなければならないなと思いました。
- ・大室先生の勢いがある講義を聞いてとても面白かったです。すごい大学へ入学したのだと実感しました。
- ・せっかく集まるので、懇親会などの他の企画もあると集まりがいがあると思います。
- ・講演後の交流会で様々な意見や考え方が聞けて参考になりました。同窓会がとてもよい役割をもっていると堂々と他人に言えるぐらい楽しい同窓会になればよいなと思います。
- ・大学で学んだ知識があるので、それを生かせるよう卒業生のネットワークを強くできたらいいと思いました。

明日の Nurse Guy を目指すそのあなた！
Nurse Guy にときめいているそのあなた！
Nurse Guy にてこずっているそのあなた！

Nurse Guy の赤裸々な本音を探りませんか…？

看護学部が育んだ男達 ～Nurse Guyのキャリア形成を考える～

看護学部は設立当初より、看護専門職を目指す多くの男性が入学し、学びをおさめ、そして社会に巣立っていきました。一般的には女性が多いとされる看護界で、彼らはどのようにキャリアを積み重ね、そして今後どのような道を目指しているのでしょうか。

そこで、男性看護職のキャリア形成について、様々な職業経験のある各年代の卒業生の話をもとに、同窓会という同じ教育背景を持つ者同士で意見交換するシンポジウムを企画します。

男女問わず多数のご参加をお待ち申し上げております。

開催概要

日時：平成23年6月11日(土) 13:00～15:00

13:00～ 同窓生を中心としたバンド生演奏

13:30～ シンポジウム

場所：千葉大学看護学部 第一講義室

シンポジスト

田中 裕二氏 (2期) 千葉大学大学院看護学研究科准教授

卯野木 健氏 (19期) 筑波大学附属病院看護部看護師長

角地 孝洋氏 (24期) 石川県小松市役所保健師

後藤 大地氏 (32期) 千葉大学医学部付属病院看護師

司会

高橋 良幸氏 (22期) 千葉大学大学院看護学研究科助教

近藤 雅巳氏 (23期) 千葉県長生郡白子町役場保健師

主催 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会

企画 広報渉外委員

委員長：石橋みゆき(14期)、副委員長：江幡智栄(13期)

委員：村瀬智子(7期)、時田礼子(21期)、山下亮子(22期)、倉田直樹(30期)、屋久裕介(31期)、橋内伸介(32期)

昨年、マンション購入斡旋業者などから同窓生の自宅に勧誘の電話がかかってくるという苦情が寄せられています。このような業者は電話番号を同窓会名簿を通して知ったということです。

同窓会では、皆さまから集めた個人情報は厳重に保管し、また名簿も信頼のおける業者に作成を依頼しており、こちらから個人情報が流出することは一切ありません。

業者が名簿をどのようにして入手したのかは特定できませんが、可能性としては、同窓生が名簿業者等に売った、名簿を廃棄する際に裁断（シュレッダー）していなかったために他者の手に渡った、勝手にコピーされたなどが考えられます。

名簿は、卒業生の動向を把握する上で貴重な資料でもあり、同窓生同士のつながりを図る大切なものです。名簿の悪用による被害を防ぐこと、そして、今後も皆さま方のご協力を得て名簿を作成していくために、名簿が他人の手に渡らないよう管理と廃棄する際にはシュレッダーをかけるなど十分にご注意頂きますようお願いいたします。

個人票の返送と記入について

個人票の返送のお願い

個人票はすべての会員の方が返送してください。

個人票は登録いただいているデータを印刷してお手元にお届けいたしております。個人票は、同窓会からのあらゆる連絡（たよりの発行、名簿の発送など）のための住所のもととなります。さらに、皆様から返送された個人票の情報を元に、看護学部卒業生の現在の就業状況を統計的に把握し、「千葉大学看護学部要覧」に掲載しています。これは、看護学部卒業生の現在の活動状況を知る重要な唯一の資料となっております。住所変更や名簿購入希望の有無にかかわらず、個人票の返送による会員データ管理は、毎年継続しておりますので必ず返送してくださいようお願い申し上げます。すでに住所変更をはがきで通知されている方も、必ず返送いただきますよう重ねてお願いいたします。

次回名簿の発行は2012年の予定です。今年度のデータを元に次年度の案内をさせていただきます。

皆様ご多用のところとは存じますが、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

個人票記入の手引き

- ☆ ご自分の個人票データについて、変更・訂正のある場合は、左側の変更・訂正事項記入欄に修正内容をご記入ください。変更・訂正をご記入された方は、同封の個人情報保護シールを上貼して、情報をカバーし、ご返送ください。
- ☆ 勤務形態、設置主体、職種、職位は下記のコード表（コード表は、個人票の裏側にもあります）から番号を選択し数字を記入してください。該当するものがない場合には、具体的に記してください。
- ☆ 現住所で連絡が取れないときのために、帰省先の住所をお尋ねしております。
- ☆ 勤務状況については、現在就業している方は「有」に、就業していない方は「無」に○をつけてください。
- ☆ 現在学生の方は最終学歴の「学校名」の欄に学校名を記し、（在学中）とお書きください。勤務を続けたまま学生をされている方（科目等履修も含む）は、勤務状況と学校名の両方のご記入をお願いいたします。
- ☆ 近況報告について、ご記入いただいてもたよりの掲載を希望されない方は、右のチェック欄にチェックしてください。



個人票返送の締め切り

平成23年6月末日までに返送してください。なお、個人票発送後に住所変更された場合は、随時お知らせください。

※総会に出席される方は、6月3日までに返送ください。

名簿購入のご案内



昨年度および本年度は名簿作成を行っておりません。「平成21年度会員名簿」の購入をご希望の方は、下記の通り申し込んでください。

1. 名簿購入希望について、同窓会名簿委員長に申し込む。連絡先：E-mail (ndousoukai@ML.chiba-u.jp) または043-226-2452 (看護学部学務係) その際、同窓会会員であることがわかるよう、氏名、学籍番号をご連絡ください。もしくは、直接、千葉大学看護学部同窓会までお出でください。
2. 同窓会会員であることが確認できた後、購入手続きをとらせていただきます。
3. 名簿の代金について 名簿は1冊 2,800円 です。
4. せっかく代金を振り込まれても、以下の場合は寄附金として処理されますので、ご注意ください。複数冊の名簿代を振り込まれた場合；名簿の購入はお一人一冊に限られています。

平成23年度 千葉大学大学院看護学研究科 教員紹介

平成23年4月1日現在

専攻	講座	教育研究分野等	教 授	准教授	講 師	助 教	特任／技術	
看護学	基礎看護学	基礎看護学	山本 利江		齋藤しのぶ	椿 祥子 川上 裕子		
		看護教育学	舟島なをみ	中山登志子			(技術職員) 菊地 佳子	
		機能・代謝学	山田 重行	田中 裕二		藤田 水穂		
		病 態 学	岡田 忍			鈴木 明子	(技術専門職員) 西尾 淳子	
	母子看護学	母性看護学	森 恵美	坂上 明子			森田亜希子 小澤 治美 前川 智子	(特任准教授) 前原 邦江
		小児看護学	中村 伸枝		佐藤 奈保	内海加奈子 仲井 あや		
	成人・老人看護学	成人看護学	眞嶋 朋子	増島麻里子			渡邊 美和 浅井 潤子	
		老人看護学	正木 治恵	谷本真理子			田所 良之 高橋 良幸 河井 伸子	
		精神看護学	岩崎 弥生				小宮 浩美 浦尾 悠子	
	地域看護学	地域看護学	宮崎美砂子	石丸 美奈			岩瀬 靖子 飯野 理恵 時田 礼子	
		訪問看護学	諏訪さゆり				島村 敦子 飯田貴映子	
		保 健 学	北池 正		池崎 澄江			
	看護システム管理学	看護システム管理学	病院看護システム管理学	手島 恵	永野みどり			
地域看護システム管理学			吉本 照子	緒方 泰子				
ケア施設看護システム管理学			酒井 郁子			黒河内仙奈		
センター 研究指導	看護実践	ケア開発研究部	野地 有子	黒田久美子	今村恵美子			
		政策・教育開発研究部	和住 淑子		赤沼 智子			
外部資金等講座			特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	特任研究員	
がんプロフェッショナル養成プラン					長坂 育代			
エンドオブライフケア看護学(日本財団)			長江 弘子 和泉成子(在米)		櫻井智穂子			
認定看護師教育課程(乳がん看護分野)					大野 朋加	荒堀 有子		
専門職連携					小河 祥子	高橋 平徳		
組織変革型看護職育成支援プログラム				河部 房子				
FDマザーマップ開発					宮芝 智子	松田 直正		
文化看護国際共同研究センター				望月 由紀				

※ 下線は正会員